

# 月刊 やちまなこ

2024. 2.15 発行

No.315

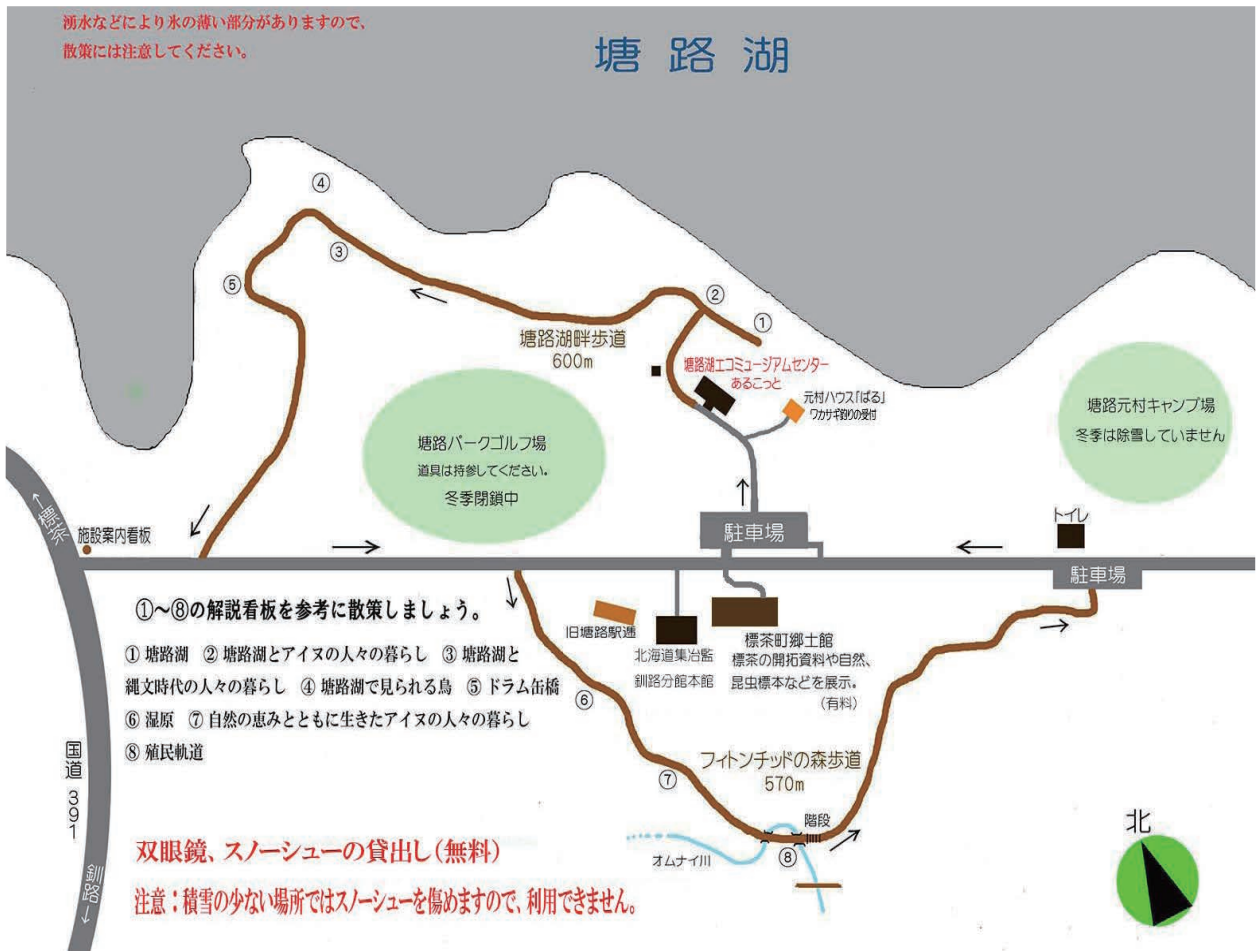
## 2月号

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっ）だより



### シラルトロ湖の夕陽

冬の SL 撮影目的のカメラマンが去った夕暮れのシラルトロ湖。カメラを構えているのは自分ただ一人。氷と水とで複雑な色合いを見せてくれるところへマガモの一団が横切ってアクセントを付けてくれた。日が長くなりつつも、寒さは本番のまま。気が付けばシャッターを押さえている指先が凍傷寸前の冷たさになっていた。



## 塘路フィールドノート【1/15～2/14】

### 【野鳥】

厳しい寒さが続いていても、晴天下では野鳥たちの行動も活発です。鳥たちのさえずりの声を耳にする機会も多くなってきており、少しずつ春を感じられるようになってきました。猛禽類の旋回も見られます。



カワラヒワ (塘路湖畔)

繁殖地はカムチャツカ。春と秋に道内を通過するが一部越冬する亜種オオカワラヒワ。



カケス (茅沼)

山のドングリ不作で平地に下りてきたのでしょうか。道内のは亜種ミヤマカケス。



マヒワ (茅沼)

標高の高い針葉樹林で繁殖し、冬期は平地の森を小さな群れで移動しています。



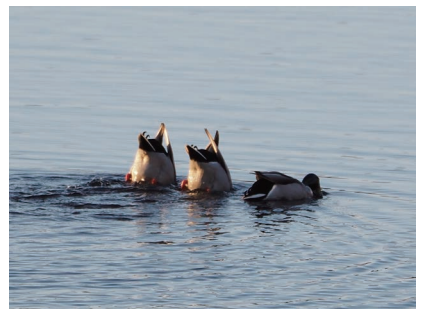
ツグミ (シラルトロ湖)

湧水のある場所は雪がない場所があり、露出した土を掘り起こして餌探し。



オジロシ (茅沼)

上空を旋回している姿も美しいのですが、樹上にある姿は風格を感じさせます。



マガモ (シラルトロ湖)

厳冬期でも凍結しない流れ込みでは盛んにエサ取りのシンクロナイズドスイミング。

## ◎ SL 走ってます

今シーズンも SL 冬の湿原号が運行しています。塘路駅では標茶行きが 11:58 発、折り返して釧路行きが 14:50 発となっています。釧路湿原国立公園を煙を上げて走る姿は多くの鉄道ファンを引き付けて止まない魅力があります。

今シーズンの運行日は機材トラブルがなければ 3 月 20 日までの予定です。



## 【動物】

雪上に付いた無数の足跡を見ると、塘路湖やシラルトロ湖周辺にはたくさんの動物たちが暮らしていることが良く分かります。雪上の足跡を観察していると、生きるための食う食われる野生の自然を実感します。



エゾシカ (シラルトロ湖)

氷上に現れた一団がなぜか人間に向かって疾走して来ました。急停止したあと真横へ。



イイズナの足跡 (サルボ周辺)

ネズミを狙って移動している個体でしょうか。世界最小の肉食動物です。



野ネズミの足跡 (茅沼)

蝶の森遊歩道沿いで見つけた足跡。意外に多く見られます。うっすら尻尾の跡。

## ◎塘路湖の氷丘脈 (御神渡り) 2024

今シーズンもできました。1 月中旬までは良かったのですが下旬に重い雪と強風によって雪が付いてしまい、氷丘脈は目立たない高さになってしまいました。よく見ると蛇行したその痕跡はかるうじて見ることができます。これがさらにせり上がって見事な氷の造形が現れるか、このまま終わるのかは、神のみぞ知る。



1 月中旬



2 月上旬



## ◎蝶の森スノーシューハイク開催しました！！

2月3日、自然ふれあいイベント「蝶の森スノーシューハイク」を開催しました。シラルトロ湖を左側に見ながら森の中を歩き、昭和初期の炭焼き小屋の遺構であった窪地を通してシラルトロ湖へ降り立ちました。湖の氷上を歩いているとオオワシが旋回しているのを確認。次いでエゾシカの群れが参加者の一団へまっしぐらに疾走してくるのを皆で驚きながら観察しました。休憩をほさみながら陸へ上がり、自然情報館駐車場にてハイクは終了。しばらくするとSL冬の湿原号が通過する時刻となり、蒸気を出しながら走るSLを参加者で撮影してイベント完了となりました。

参加者 11名



## 3月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

### アイヌ刺繍講座

[日 時] 3月2日(土) 13時～15時

[定 員・参加料] 15名 参加料 300円

[開催場所] 塘路湖エコミュージアムセンター

◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

### ラムサール条約釧路会議30周年事業 温根内の歴史を探訪しよう

[日 時] 3月17日(日) 10時～12時

[定 員・参加料] 15名 無料

[開催場所] 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンターまで

◆日出・日入時間 1/15(6:50,16:10).1/31(6:38,16:31).2/14(6:21,16:50)

～指導員の独り言～

■いまから30年以上前の平成初期、学生身分だった頃に無謀にも北関東から能登半島へ自転車で行こうと思いつき、筋肉痛と膝関節の炎症と闘いながら3日目に富山県水見市まで到達した。4日目に石川県入りし半島中間の穴水町のところで秋の嵐に遭い、風雨が強まるなかで半島を途中で横断して金沢市へ向かうというルート変更を強いられた。当時の半島北部の風景を見られなかったのは無念であるが、復活を信じていつの日か行こうと思う。

### 釧路湿原国立公園

#### 塘路湖エコミュージアムセンター あるこっと

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野  
TEL: 015-487-3003 FAX: 015-487-3004  
E-mail: emc@kushiro-shitsugen-np.jp

Instagram [torokoemc](https://www.instagram.com/torokoemc)

開館時間: 10:00～16:00

(4～10月: 17:00まで)

休館日: 毎週水曜日 12月29日～1月3日

入館無料